

連文

R E N B U N



Vol. **113**
2022.8



久留米連合文化会

久留米市長就任にあたって

久留米市長 原口新五



本年1月に第21代久留米市長に就任いたしました原口新五です。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

久留米連合文化会は、「文化によって地域を復興し、人々が自信と誇りと生きることの喜びを取り戻すことが重要である」という崇高な理念のもと、昭和24年に発足をされて以来、連綿と活動が続けられ、今まで素晴らしい歴史と実績を積み重ねてこられました。現在、500名を超える会員の皆様、県南地域の文化芸術振興のリーダーとして活躍しております。

久留米連合文化会が、このように発展してこられましたのも、内野博夫会長をはじめ、歴代の会長、役員の皆様の並々な努力と、会員の皆様の熱意のある活動の賜物であり、深甚なる経緯と感謝の意を表します。

さて、本市は古くから交通の要衝として栄え、その長い歴史の中で多彩な地域資源を培ってまいりました。特に文化芸術の分野では、才能あふれる人材を多数輩出しているほか、市民の皆様の活動も大

変盛んな土地柄です。このような文化芸術の土壌をまちづくりを活かすため、今後の市政運営方針において、「安心・安全で活力にあふれた、誰もが生き生き生活・活躍できる共生のまち」の実現を基本目標として掲げ、その柱の一つとして、次世代の志や夢、希望をかなえるため、様々な分野において、まちづくりの鍵となる担い手の育成と発掘、環境整備を行うこととしております。特に文化芸術の分野では、楽しむ機会の創出、人材の発掘・育成・支援に取り組んでまいります。

地方自治体を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中、社会情勢の変化を見極めながら取り組んでいく必要があると考えております。まずは、市民の皆様のご協力を得ながら、久留米シティプラザや久留米市美術館などの活用と文化・芸術を楽しむことができる機会の創出を図っていきます。久留米の文化・芸術の振興には、久留米連合文化会の活動は大きな意義を有するものであり、皆様方にはその先導役としてより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにはなりますが、久留米連合文化会の更なる発展と、会員の皆様方のご活躍、ご健勝を心より祈念いたします。

令和4年度定期総会を終えて

久留米連合文化会会長 内野 博夫



会報誌111号において、私の就任あいさつ「船出に際して・・・」でも述べていましたが、これからの時代は情報の提供が要求される時代です。正副会長会議ならびに、各委員会の審議内容をホームページ上で公開し、会の決算・予算等も理事会・総会で視覚化を進めました。

新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返し、再び感染が急拡大し福岡コロナ特別警報も発令され終息が見通せません。このような状況ではありますが今年度は感染予防を徹底し、対面での事業を進めていきます。特に若い会員のみならずとの交流を通し、その活動を支援していきます。本年度は、比較的若い会員の多い青年部委員会をはじめ広報委員会・企画運営委員会等各種委員会を、少しはありますが予算面でバックアップしてあります。

連文も他の団体と同様高齢化が進んでいますので、特に若い人に入会していただくための活動を皆さんとともに模索していきたいと考えています。魅力ある文化団体で、若い人が入会したいと思うよう

うな輝きを放つ連文にしていきたいです。

久留米地域に在住の方をはじめとして、様々なジャンルの方々に礼を尽くして入会の招待を行い、久留米地域の文化的向上にいささかも寄与できれば本望だと思っています。

〈当面の課題〉

現在正副会長会では過去の規約改正及び若い会員の活動を支援していくことについて検討をしており、近いうちに方向性を示して企画運営委員会へ諮問いたします。主なものとして総合文化部門のジャンル内容を再検討、理事の定数基準及び理事の選出母体（部）についても検討・諮問いたします。

連文の収入は会費及び久留米市からの補助金が主なものになっています。補助金も毎年保証されるものではありません。国や県の補助金、民間企業の補助金もこれからはもっと数多く申請することと考えていかねばなりません。補助金申請に伴い収益事業開始届書を税務署に提出する場面もでてきており、NPO法人化を含めて連文の組織の在り方を検討研究してまいります。

これらの課題についてはホームページに掲載し広く会員の皆さんの意見を聞いて進めていきたいと思っています。

久留米連合文化会 令和4年度定期総会報告

久留米連合文化会定期総会は5月29日(土)10時～11時半、久留米シティプラザ大会議室に於いて開催された。

1. 会長あいさつ

2. 定足数報告

会員507名に対し出席128名 委任状236名、計364名で定足数を満たし総会は成立しました。(過半数充足)

3. 議長選出 洋画部 向坂代表理事

4. 議案審議

●第1号議案

令和3年度久留米連合文化会事業報告並びに決算承認(監査報告)

●第2号議案

令和4年度連文事業計画及び予算(案)

報告事項

5. 議長退席

6. 表彰(過去2年間の方)

7. 新会員紹介

1～7の次第で二号議案二号議案、共に執行部原案通り賛成多数で可決されました。

決算・予算等スクリーンにグラフで表示視覚化に務めました。



新型コロナウイルス感染症の為、2年間は対面での事業が出来ませんでした。

まだまだ収束の兆しが見えず不安な日々が続いています。感染対策を徹底した上で対面事業を進めていきたいと思っています。(事務局)

久留米連合文化会日本舞踊公演

主催・久留米連合文化会日本舞踊部 代表者・花柳三枝君

3月に予定していた日本舞踊公演『春の彩』は、コロナ感染拡大を受け延期せざるを得なくなりましたが、6月18日(土)久留米シティプラザ久留米座において開催することができました。

当日は、梅雨の合間の青空が広がり朝から真夏のような天気に恵まれました。

今回の公演は、国内外で活躍中の花柳源九郎氏による分かり易い解説や、舞台を裏で支えてくれる後見・狂言・鬘・衣裳などの紹介を交え、はじめて日本舞踊をご覧いただく方にも楽しく鑑賞していただけたのではないかと思います。連文日本舞踊部としての



鬘・衣裳をつけた本格的な会は実に12年ぶりでした。

出演者それぞれが舞台に向け稽古に励んだこと、今までにない緊張の中舞台上に立てたこと、感染対策にご協力いただきつつ、たくさんのお客様にご来場賜りましたこと、今まで普通に出来たことが今日では奇跡に等しくご支援いただいた方々への感謝はつきません。これからも、泉流・花柳流・藤間流・若柳流と日本舞踊の主たる流派が一同に会す連文日本舞踊部の特性を活かし、互いに研鑽を重ね日本舞踊の発展に力を注いでいきたいと思います。

(日本舞踊部・藤間 勘志龍)



久留米市芸術奨励賞受賞記念

稲吉えりな

オーボエリサイタル

4月30日(土)、文化センター共同ホールに於いて開催いたしました。

令和2年11月に久留米市芸術奨励賞をいただき、記念リサイタルをさせていただきました運びとなりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で延期が続き、1年半という月日が流れての開催となりました。

プログラムは、私がフランスを留学先

に選ぶ決め手

になった作曲

家、フランシ

ス・ブーラン

クのソナタな

ど、オーボエ

のための曲を

中心に構成

させていただきました

きました。あ

たたかいお客

様に囲まれ

て、大好きな曲を

大好きな久留米で演奏

させていたことが

でき、とても思

い出

に残るコンサート



(piano 和田剛治 oboe 稲吉えりな)

思っております。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

(洋楽部・稲吉えりな)

久留米市芸術奨励賞受賞記念

ゴスペルクワイヤO.V.G. 結成20周年記念コンサート

O.V.Gは久留米からゴスペル音楽を発信すべく20年前に発足いたしました。

これまででは多くのイベントや病院施設の慰問などを活動発表の場としてきました。昨年11月に久留米市芸術奨励賞を受賞させていただいたことを記念し、20

年の思いを繋ぐ

形で5月21日(土)

文化センター共

同ホールに於い

て初の自主企画

単独コンサート

を開催いたしま

した。

この20年で与

えられた出会い

で豪華なゲスト

の皆様にもご出

演いただき、ご来

場の皆様からも感動の

お声を聞くことが

できました。おかげさ

まで、普段からゴ

スペルを通して感

じている希望や喜び



これを機に私個人はこの団体の代表を後継者に委ねますが、市内外で活動する他四つのゴスペル団体の指揮は継続いたします。これからも、今の時代にあつて必要とされる「心を潤す音楽・芸術」を、希望を歌うゴスペルを通して拡げていきたいと願っております。

(ステージ文化部・廣重 貴子)

華道家元池坊 久留米支部花展

令和4年4月16日(土)〜17日(日)、久留米シティプラザ展示室にて開催しました。

「故 松永 滋先生を偲んで」

家元教授でもあり、久留米支部員として長きにわたり支えて下さった故松永滋先生

の追悼花展

として来場の

方からも見応

えのある花展

でしたと感想

をいただきました

した。一日間で

ジュニアも含

め110名が

出瓶、700

名の入場者が

あり、コロナ禍

中感染予防を徹

底し、無事に花展を終

えることが出来

ました。



(華道部・関靖子)

第15回 連文工芸部作品展

2022年6月28日(火)から7月3日(日)にかけて、第15回工芸部作品展を昨年に引き続き久留米市一番街多目的ギャラリーで開催しました。

出展者数は計 13名、来場者数は6日間で計161人でした。

年々減っていく工芸部員数ではありますが、作品自体は充実しており、とても見応えのある作品展に仕上がったと思います。

猛暑の中、ご来館くださった方々にはとても感謝しております。

細々とはあ

りますが、工

芸部員一同、そ

れぞれの技術

と美的感覚

の向上を目

指して、目に

見えない心の

中の、興

味を惹くもの

を、愛して止

まないもの

の「表現」に

真摯に向き

合いつつ探

求し、皆様に

楽しんでいただ

けるよう精

進してまい

ります。



(工芸部・廣藤 圭)

第56回 仲縄忌俳句大会

6月27日(月)、コロナ禍も収束に向かいつつある中、遍照院にて高山彦九郎先生の二百三十回忌の法要がありました。

今年も、本堂で

のみの法要ということで、御墓所の周りや庭園を吟行し、午後一時より、野中生涯学習センターにて、俳句大会を行いました。

選者二名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。



大力 妙子 選

◎この街に根付く忌日や苔の花

矢野 愛子

万緑や志士の精神色褪せず

野口 桂子

仲縄忌孤高の志士を忘れまじ

平岡 清志

吉田 いずみ 選

◎緑蔭へ忌心深く集ひけり

矢野 愛子

梅天に松籟を聞く仲縄忌

平岡 清志

昼の蚊の飛び交ふ音や忌日寺

元谷 京子

(俳句部・野口 桂子)

第24回 短歌部「歌評会」

令和4年7月23日(土)、えーるピア久留米206号室で開催しました。

選者2名による特選歌と互選は次のとおりです。

◎特選歌

藤吉 宏子 選

一位 黄金の麦の広畑誇らしく小雀の飛ぶ声高く飛ぶ

田代 直美

二位 はしゃぐ少女等静かになりて大人さび首かしげつつお手前をする

生津 郁子

三位 あざーすも自転車もすぐに風となる我と夏草共にゆらして

小林 よしこ

栗林 喜美子 選

一位 古き家退きて真北にはるばると筑紫国原宝満の山

堀江 英毅

二位 義兄^{あに}逝きて独りとなる姉の家丸ごとつつみ時計草咲く

白石 厚子

三位 暴威もて踏み躪られし魂思ひ今年の蛩逢ひにゆけざり

酒井 イオエ

◎互選

一位 朝顔の花咲く支柱に熊蟬の勇士のごとき抜け殻ひかる

白土 久美子

二位 夏つばき咲けば貴女を想ひ出すも一度会ひたい今日七回忌

名島 ミヤ子

三位 古き家退きて真北にはるばると筑紫国原宝満の山

堀江 英毅

(短歌部・田代 直美)

第58回 久留米短歌大会

令和4年6月5日(日)、石橋文化会館小ホールで開催しました。

毎年開催していた久留米短歌大会が会場閉鎖となり、二年間開催出来ず誌上開催や中止でした。今回三年ぶりに短歌大会を開催しました。不安な中にも新型コロナウイルス感染症予防対策は大変でしたが、精一杯注意をしました。

出席者は、作品応募者以外にも見学者が来場され講演や、歌評などを楽しめました。特に講演はプロジェクターによる、映像での説明で解りやすく楽しい講演だったと皆さんお喜びになりました。福岡女学院大学助教授で歌人としても有名な桜川牙子先生の講演で、演題は『短歌でめぐる九州・沖縄』でした。立ち見をされて聞いている方もおられたとお聞きしました。今後も市内の見学の方も、おおいに歓迎しておりますので、どうぞご遠慮なく見学ください。

また、十二歳の方の応募作品もありました。後でお話ししましたら、短歌が好きだとのことでした。今後



を期待しております。

開催にあたっては、久留米連合文化会より会長様をはじめ役員の皆様にもご来賓としてお越し下さり、大変ありがとうございました。特選歌は次のとおりです。

◎久留米市長賞

ロックダウンされしか脳銀行の暗証番号まる二日消ゆ

福岡市 末次 典子

◎久留米市議会議長賞

課題とふ吾の来し方を問ふ孫に伏せたき事の一つ語らず

柳川市 高橋 将代

久留米市教育委員会賞

春の日にハイネの詩をば語るとき君の瞳はかがやいていた

小郡市 花島 貴美子

◎久留米文化推進協議会賞

あたらしき人流といふ川流れ人ともどなく暗渠に消ゆる

筑後市 井寺 容子

◎西日本新聞社賞

柿若葉すき間もあらず繁り合ひ梅雨の晴れ間の陽に輝けり

糸島市 鐘川 千代美

◎西日本新聞社賞

立春の光を歩む杖ながら十歩の影をふりむきにけり

福岡市 村山 安義

(短歌部・田代 直美)

第49回久留米謡曲

連盟謡曲大会

1月23日(日)9時30分
17時、久留米シティプラザ3階 久留米座能舞台にて開催されました。

久留米謡曲5流

(金春・観世・喜多・梅若・宝生)

素謡・仕舞など

入場者180名

(謡曲部・蒲池洋二)



大石紫光とそのグループ

第40回水墨画心象会展

令和3年8月末に展覧会を開催予定でしたがコロナ流行のため翌年の5月31日(火)から6月5日(日)、久留米市一番街多目的ギャラリーで開催しました。

8月に足を運んでくださった皆様に申し訳なくお詫びいたします。今回は来場者の方々も楽しみに待っていてくださったこともあり会員一同より一層勉強したいと思いました。



(水墨画部・古賀利恵)

水天宮献茶

(表千家不白流九州支部)

4月10日(日) 玉垂宮、5月3日(祝) 水天宮に於いて開催しました。

コロナの為、どちらも呈茶は出来なくて献茶のみで寂しい思いをしました。

早くコロナが収束して通常の茶会が開催できるよう祈りました。

(茶道部・岡宗幸)

2022年 旅立ち

1970年代国鉄ジオラマ・書画制作

7月1日(金)から29日(金)まで、荒木駅前郵便局(駅横)にて展示会をしました。

ジオラマ(Nゲージ)にて1970年代の国鉄荒木駅を再現していて、当時走っていた蒸気機関車、ディーゼル機関車、電気機関車、電車などを並べて表現しました。

また、駅は旅立ちの場所でもあり、桜の花を中心に書や絵を、ジオラマと合わせて展示しました。郵便局の中での展示ですので、平日9時から17時と時間が限られていましたが、多くの方に見て頂き感謝しております。



(書画文化部・野田弘樹)

久留米児童合唱団

第50回記念定期演奏会

7月18日(祝)、石橋文化ホールにて開催しました。

第1部「クラシック・ベストセレクション」

第2部「ディズニーのおとぎの世界」

第3部「ポピュラー・ベストセレクション」

第4部合唱ミュージカル「ペリーの木」

指揮・樋口豊・堤由希子

伴奏・久保山スミ子・長谷川ゆか

コロナ禍で2021年5月開催予定の演奏会でしたが、やっと開催の目途がついた矢先また感染の急拡大で、開催が危ぶまれました。しかし万全の対策を施しながら練習に励み、直前での全員の抗原検査を経て陰性を確認し、マスク着用にての演奏会となりました。

事前のPRを一切せず、当日券も販売しませんでした。が団員からのチケット販売、招待券発行でかなり満席に近い入りとなりました。

今回は50回記念ということで卒団生にも出演を呼びかけ、全国で活躍している卒団生が

上は50代から下は大学1年生まで参加してくれました。ただ職場での感染拡大等のため本人は感染していないものの用心のため参加できなくなったという卒団生が続出し当初予定数の半分程度まで減ったことは残念でした。(音楽部・樋口豊)



■特別企画■お楽しみに

総合文化部門の新たな試み

部門演奏会・第4回部門展

久留米連合文化会総合文化部門は絵手紙等の創作作品を主とする書画文化・日々の生活に密着した生活文化・古典作品や古典芸能を主とした伝統文化・様々なジャンルの演奏を主とするステージ文化・歴史や文化等の研究を行う学芸文化・国際交流文化の五部門で構成されております。コロナの影響もあり近年活動に制限がかかっておりましたが、今年は例年の展示会に加え、久留米座での部門演奏会を行う予定です。ステージではジャズ・ゴスペル等のジャンルをこえた演奏。また、その中に書や古典作品などのスペースを加え、五部門の力を結集してより良いステージを作り上げていきたいと実行委員会を立ち上げました。多種多様な文化のジャンルを超えての共同制作を会員同士で意見を交換させ、楽しみながら会が進んでおります。どのようなステージになるのか、私自身も今からワクワクしております。ご来場の皆様にもきっと楽しんでいただけると確信しております。ぜひご来場いただきますようよろしくお願いいたします。また、部門展も展示室にて12月16日より3日間同時開催です。

演奏会・2022年12月16日(金)18時

(総合文化部門副会長・才田亜希子)

第20回ジュニア青木繁展

久留米に生まれた青木繁は、若干17歳にして青雲の志をたて、芸術の道を極めるため単身上京しました。浪漫主義の絵画を開花させ、我が国洋画界の鬼才と評され、歴史に残る活躍をしました。

青木繁の画業を顕彰するとともに次代を担う若者に、芸術の清新な感動を体験させ、文化を育成していく心情を育てる場として本展を開催します。連文は運営にたずさわり、美術部門の会員が審査員として協力しています。

第20回は、新型コロナウイルス感染症防止に鑑み、ウェブ展覧会としました。

〈絵画の部〉

◎大賞 小都市立三国小学校 2年

土井 望暖さん

応募数も前回より大幅に増え2237点で、限られた入選・入賞数にかなりの厳選となりましたが惜しくも受賞を逃したのものにも、色使い豊かな作品、描写力がある作品、アイデアが利いた作品など、審査をしていて感心させられる作品が多くみられました。大賞作品は画面いっぱ



書道部の部 大賞作品

いに一匹の猫を流れる様な線で描いてあり、全体の色使いも落ち着いた中間色と鮮やかなパステル色とのバランスが、とても美しく響き合っています。また、背景の花などの工夫に作者の楽しく描いた姿が想像できる作品です。(洋画部長・宇美 拓哉)



絵画の部 大賞作品

〈書道の部〉

◎大賞 太宰府高等学校 2年

早川 結菜さん

審査は出品数1058点を9名の審査員で厳正に行われました。大賞作品は半切に縦4行、幕末の三筆のひとり貫名松翁「左練序」の臨書でした。筆圧の強弱がきいた粘り強い線質で、全体の構成も見事に調和し、古典の特徴を写実的に捉えた高校生らしい真面目な作品でした。

(書道部長・中島 静山)

■特別企画 ■お楽しみに

ドクターブンブン

アートであそぼう
久留米座アート!

今秋9月に予定されている今回で10年目を迎える「ドクターブンブン」は、子ども医学部を中心に、さまざまなジャンルのおしごと体験などを提供する、子どものための体験・まなび型イベントです。同様のイベントは全国でいくつかの例がありますが、これほどの規模で行われているのは久留米が唯一といえるでしょう。

グランドホールをほぼ満員にする基調講義のほか、市内の医師、医療関係者により20コマ以上の各診療科の授業のほか、お仕事、学び、スポーツなどたくさんの方がスガ設営され、当日集まる二千人以上の子どもたちの期待に応えています。

コロナ禍により、2年続けてウェブ開催となっていました。今年3年ぶりにメイン会場である久留米シティプラザを全館貸しきっての開催が予定されています。

連文では昨年、青年部有志により初めて参加。舞台芸術や美術部門からなるメンバーによる動画をオムニバス方式でつなぐ形で公開し、たいへん好評を得ました。ドクターブンブンの今年のテーマのひとは「STEAM教育」。科学、技術、工学、数学に芸術を加え、多ジャンルを横断するテーマを提供することにより、子ども

ちがさまざまな体験を通して「ワクワクする」感動を得ることを目指しています。この芸術部門の参加と云うことで、主催する実行委員会からも熱い期待が寄せられています。

医の街とよばれるほど医療関係の充実した久留米市ですが、久留米市などの伝統工芸や多数の50年企業が存在、何より「連合文化会」という文化団体の存在など、とてもユニークな魅力ある街だといえます。

この地元久留米の魅力を子どもたちが再発見し、将来「久留米で働きたい、住みたい」と思う子どもたちが一人でも増えてくれれば幸いです。

(映画演劇部・今村 好典)



Dr.BUNBUN公式サイト



◎日誌◎報告 2022年(令和4年) 1月～7月 report

第6回喜多流「久留米座」能	1/22(土)・久留米シティプラザ 久留米座
第49回久留米謡曲連盟謡曲大会	1/23(日)・久留米シティプラザ 久留米座
第20回ジュニア青木繁展(Web展示)	2/1(火)～2/28(月)・久留米連合文化会HP
元谷京子 書作展 ―ことばを紡ぐ―	3/1(火)～3/31(木)・筑邦銀行本店
池坊三猪支部	3/18(金)～3/21(祝)・久留米シティプラザ 展示室
川島書道教室作品展	3/18(金)～3/21(祝)・岩戸山歴史文化交流館
利休忘(裏千家淡交会)	3/20(日)・よしの園 和室
第38集「久留米歌壇」発行	4/1(金)発行
玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部)	4/10(日)・玉垂宮
華道家元池坊久留米支部花展	4/16(土)～4/17(日)・久留米シティプラザ 展示室
稲吉えりな オーボエリサイタル	4/30(土)・文化センター 共同ホール
久留米文学第69号発行	5/1(日)発行
水天宮献茶(表千家不白流九州支部)	5/3(祝)・水天宮
大日本茶道学会福岡地区研修会	5/8(日)・大濠公園日本庭園
ゴスベルクワイヤO.V.G. 結成20周年記念コンサート	5/21(土)・文化センター 共同ホール
令和4年度連文定期総会	5/29(日)・久留米シティプラザ 大会議室
第40回心象会展	5/31(火)～6/5(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
田中慧の「癒しの花」水彩画展	6/5(日)～26(日)・山辺道文化館
第58回久留米短歌大会	6/5(日)・石橋文化会館小ホール
日本舞踊部公演「春の彩」	6/18(土)・久留米シティプラザ 久留米座
第56回仲縄忌俳句大会	6/27(月)・遍照院・野中生涯学習センター
第15回工芸部作品展	6/28(火)～7/3(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
2022年 旅立ち 1970年代国鉄シオラマ 書画作品	7/1(金)～7/29(金)・荒木駅前郵便局内
久留米児童合唱団第50回記念定期演奏会	7/18(祝)・石橋文化ホール
短歌部歌評会	7/23(土)・えーるピア久留米
九州芸文館特別展「あゆみー伊藤彰耳展」	7/23(土)～8/23(日)・九州芸文館 教室工房1・2
青木繁旧居生け花展示(章月流万年青会中野松芳社中)	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示(小原流・章月流・嵯峨御流/毎週交代)通年・JR久留米駅構内	通年・JR久留米駅構内

◎芸術散策◎行事のお知らせ 2022年(令和4年) 8月～12月 information

水天宮献茶(表千家不白流九州支部)	8/6(土)・水天宮
第22回フジタバレエ研究生発表会	8/7(日)・石橋文化ホール
第7回ジュニア文芸大会(公募)	8/1(月)～9/7(水)・久留米連合文化会事務局
杉並児童合唱団 久留米公演	8/8(月)・久留米シティプラザ
第41回会員華道展	9/8(木)～9/11(日)・久留米シティプラザ 2F展示室
上下水道フェア(表千家不白流九州支部)	9/18(日)・南部浄化センター
大日本茶道学会福岡地区研修会	9/23(金)・大濠公園日本庭園
ドクターブンプン アートであそぼう! 久留米座アート	9/25(日)・久留米シティプラザ 久留米座
観月茶会(裏千家淡交会)	10/1(土)・六角堂広場
日本礼道小笠原流創流90周年記念茶会	10/2(日)・久留米シティプラザ 4階・5階
高良大社献茶(表千家不白流九州支部)	10/10(祝)・高良大社
第71回久留米市総合美術展	11/9(水)～11/27(日)・久留米市美術館 1階
第51回会員美術展	11/9(水)～11/27(日)・久留米市美術館 1階
日吉神社献茶(表千家不白流九州支部)	11/11(金)・日吉神社
第68回桃青忌俳句大会	11/23(祝)・コミュニティセンター上津
第29回賢順記念全国箏曲祭	11/27(日)・久留米シティプラザ 久留米座
第73回西部示現会展	12/6(火)～12/11(日)・久留米市美術館 1階
第67回助け合い茶会	12/11(日)・久留米シティプラザ
第21回ジュニア青木繁展(公募・搬入)	12/12(月)～12/16(金)・久留米連合文化会事務局
水墨画部展	12/13(火)～12/18(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
総合文化部門ー演奏会・第4回部門展ー	12/16(金)～12/18(日)・久留米シティプラザ 久留米座
ふるさとの名曲in久留米クリスマスコンサート	12/24(土)・久留米シティプラザ 久留米座
青木繁旧居生け花展示(章月流万年青会中野松芳社中)	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示(小原流・章月流・嵯峨御流/毎週交代)通年・JR久留米駅構内	通年・JR久留米駅構内
訃報(令和4年1月～7月) 謹んでご冥福をお祈り致します。	瀬戸島 宗芳(芳子)さん(茶道部) 令和3年9月4日 浅見 寧さん (洋画部) 令和4年2月14日 秋山和豊さん (洋画部) 令和4年3月12日 古賀たかしさん(写真部) 令和4年5月10日

